



平成 28 年 3 月 7 日

各 位

会社名 東京製綱株式会社  
代表者名 取締役社長 中村 裕 明  
(コード番号 5981 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役執行役員総務部長 佐藤和規  
(TEL. 03-6366-7777)

エジプト送電公社 (EETC) 等との  
「エジプトにおける CFCC®を用いた増容量用送電線の適用拡大に関する共同調査」  
の覚書締結について

当社は、エジプト送電公社 (Egypt Electricity Transmission Company : EETC) 並びに同国電線メーカーである MAADI COMPANY FOR ENGINEERING INDUSTRIES(MCFEI)との 3 社間で、「エジプトにおける送電容量の増容量化を目的とする炭素繊維複合材ケーブル (以下「CFCC®」と言います) を使用した ACFR (Aluminum Conductor Fiber Reinforced、芯に CFCC®を使用した電線) の適用範囲拡大についての共同調査に関する覚書を締結するとともに、パイロットプロジェクトを実施する方向で合意致しました。

エジプトでは、経済発展による電力需要の増加 (年率 6%) が見込まれており、併せて送電網の充実、中でも既設送電網についての能力増強が喫緊の課題となっております。

先般、エジプトのシシ大統領が来日し、両国間における経済協力とインフラ整備促進に向けた関係強化が合意されたところですが、本覚書の締結はその一環であります。

ACFR の芯材である CFCC®は、既存架空送電線の芯材に用いられる鋼より線と比べ、軽量、高強度、非磁性、かつ熱による膨張が極めて少ないという特長から、既設の鉄塔等の送電インフラを用いて ACFR に交換することで送電網の増容量化 (1.5 倍~2 倍) が可能であること、送電時のコア材料の磁性に起因する送電ロスが無い等、EETC からもその有効性について高い評価を得ております。

ACFR は、これまでに日本、中国やインドネシアといった国々での架線実績があり、それぞれの地域のユーザーからその特長について高い評価を得ております。今後も、電力需要の増加が著しい新興国を始め、エネルギー転換等が進む欧州や米国など世界各国で増容量電線に対するニーズの高まりが予想される場所であり、当社は、引き続き CFCC®および ACFR の世界展開に注力してまいります。

また、CFCC®は土木用途においても日本や米国で多数の実績があり、現在、米シシガン州において製造工場を建設中です。

【Egypt Electricity Transmission Company】

所在地 : Abbasid, Nasr City, Cario 11517, Egypt

代表者 : Eng. Gamel Abdel Rahim (Chairman)

【MAADI COMPANY FOR ENGINEERING INDUSTRIES】

所在地 : Corniche, El Nil P.O. Box 414, Maadi, Egypt

代表者 : Eng. Naser Naser Aly (Chairman)

※CFCC®とは : Carbon Fiber Composite Cable (炭素繊維複合材ケーブル)

炭素繊維と熱硬化性樹脂で撚り合わせて成形した当社開発の複合材ケーブル。

以上